

# CVV (Civil Veterans & Volunteers)

黒山 泰弘



2019年1月18日  
第2回地盤工学サロン

# CVVの設立の経緯と概要



- 1999年活動開始
- 会員数: 29名  
会友: 42名 (2018年9月現在)
- 代表  
関西大学教授 古田 均
- 幹事長  
神戸大学名誉教授 川谷 充郎

## 会員内訳

学校(7人)、役所(6人)、橋梁メーカー(5人)

道路会社(4人)、ゼネコン(3人)、コンサル(2人)

その他(1名) 計29名

# 過去、どのようなことに取り組んできたか



The screenshot shows a web browser window displaying the homepage of the Civil Veterans & Volunteers (CVV) organization. The browser's address bar shows the URL 'http://cvv.jp/'. The page features a logo with the letters 'CVV' and the text 'Civil Veterans & Volunteers since 1998'. Below the logo, the main title 'シビルベテランズ&ボランティアズ' is written in large, stylized blue and red characters, followed by 'CVV (Civil Veterans & Volunteers)' in red. A yellow banner contains the text '主として、「土木」の仕事に長年携わってきたベテラン達の集まりのサイトです。'. A horizontal navigation bar contains six tabs: 'CVVのこと What CVV?', 'まちづくり研究 City Harmony', 'イベント Events', '防災関係 Prev. of Disaster', '関係リンク Related Links', and '伝言板 Message'. Below the navigation bar, three photographs are displayed with captions: 1. 'なにわ八百八橋・橋洗い(協力) (2016.10.15)' showing people cleaning a bridge; 2. '浪速の名橋50選 見学会 (2016.7.16)' showing a group of people on a red bridge; 3. '土木の教室(支援) (2016.3.26)' showing a classroom setting with a presentation screen. At the bottom, a red '[ News ]' section is followed by a blue 'New' announcement: '共同研究グループ:シビル・ベテランズ&ボランティアズ(CVV) 大阪市立大学/「淀川沿い橋巡り」実施報告'. The Windows taskbar at the bottom shows the date '2017/09/26' and time '9:42'.

http://cvv.jp/

Welcome to CVV

**CVV**  
Civil Veterans & Volunteers  
since 1998

## シビルベテランズ&ボランティアズ

CVV (Civil Veterans & Volunteers)

主として、「土木」の仕事に長年携わってきたベテラン達の集まりのサイトです。

CVVのこと  
What CVV?

まちづくり研究  
City Harmony

イベント  
Events

防災関係  
Prev. of Disaster

関係リンク  
Related Links

伝言板  
Message



なにわ八百八橋・橋洗い(協力)  
(2016.10.15)



浪速の名橋50選 見学会  
(2016.7.16)



土木の教室(支援)  
(2016.3.26)

[ News ]

New 共同研究グループ:シビル・ベテランズ&ボランティアズ(CVV)  
大阪市立大学/「淀川沿い橋巡り」実施報告

9:42  
2017/09/26



## 築土構木の軌跡！ (日刊建設工業新聞掲載)

「CVVな男(女)たち」の中から、日刊建設工業新聞が、再編集して、同新聞に掲載したものである。

番号	タイトル	氏名	掲載日
1	<a href="#">築土構木！①</a>	金山 正吾	2007.7.23
2	<a href="#">築土構木！②</a>	北村 正夫	2007.7.30
3	<a href="#">築土構木！③</a>	山内 英治	2007.8.6
4	<a href="#">築土構木！④</a>	藤田 昭治	2007.8.20
5	<a href="#">築土構木！⑤</a>	森 俊彦	2007.8.27
6	<a href="#">築土構木！⑥</a>	久保地 啓之	2007.9.3
7	<a href="#">築土構木！⑦</a>	酒井 豊	2007.9.10
8	<a href="#">築土構木！⑧</a>	田中 輝彦	2007.9.18
9	<a href="#">築土構木！⑨</a>	岩本 樹雄	2007.9.25
10	<a href="#">築土構木！⑩</a>	松井 保	2007.10.1

[トップページに戻る](#)

## 講演会の記録

(日時)	(講師)	(演題)
平成23年(2011年)12月13日(火)	岸田 哲二 (株)日本ネットワークサポート社長(元関西電力副社長)	<a href="#">福島原発事故と今後のエネルギー政策について</a>
平成21年(2009年)3月11日(木)	谷平 勉 (CVV幹事長)	<a href="#">22世紀への提言</a>
”	北村 正夫 (CVV会員)	<a href="#">街道を歩く～西国三十三観音巡礼</a>
平成20年(2008年)5月14日(水)	鈴木 清美 (株)ノヴァエネルギー社長	<a href="#">潮流・発電装置の研究開発</a>
平成20年(2008年)3月19日(木)	播本 章一 (元駒井エンジニアリング社長)	<a href="#">橋屋五十年 ただひたすらに</a>
平成20年(2008年)2月21日(木)	橋 英三郎 (阪大名誉教授・阪大フロンティア研究センター特任教授)	<a href="#">衝突と衝撃のシミュレーション</a>
平成20年(2008年)1月16日(水)	芦田 大蔵	<a href="#">土木技術者の見た「古事記」</a>



平成20年(2008年)3月19日(木)	(株)フリアエネルギー社長 <b>播本 章一</b>	<a href="#">橋屋五十年 ただひたすらに</a>
平成20年(2008年)2月21日(木)	(元駒井エンジニアリング社長) <b>橋 英三郎</b>	<a href="#">衝突と衝撃のシミュレーション</a>
平成20年(2008年)1月16日(水)	(阪大名誉教授・阪大フロンティア研究センター特任教授) <b>芦田 大蔵</b>	<a href="#">土木技術者の見た「古事記」</a>
平成18年(2006年)12月5日(火)	(元大阪市技術監) <b>小山 修三</b>	<a href="#">古代史における土木遺産</a>
平成18年(2006年)11月16日(木)	(吹田市立博物館館長) <b>守 茂昭</b>	DPCの実現について ー地域減災活動の必要性ー
平成18年(2006年)10月15日(日)	((財)都市防災研究所事務局長) <b>マイシー ビアンピライ</b>	<a href="#">ラオスに於ける道路開発</a>
平成15年(2003年)1月9日(木)	(ラオス 道路局 計画・技術部長) <b>千野 境子</b>	関西の活性化について
〃	(産経新聞大阪特派員兼論説委員) <b>平尾 修一</b>	小学校教育現場の課題
	(元大阪市立南小学校校長)	

# CVVな男たち

ベテランのCVV会員が語る経験と知恵  
先輩が、後輩の土木技術者たちに伝える、ドラマです

番号	タイトル	投稿者
22	此花大橋の建設に携わって	田中 洋
21	<a href="#">都市土木工事の苦勞あれこれ</a>	友廣 康二
20	<a href="#">わが 地下鉄人生</a>	金山 正吾
19	<a href="#">大川が氾濫するぞ～</a>	金山 正吾
18	<a href="#">中流土木技術者の足跡</a>	久保地 啓之
17	<a href="#">ある土木屋の変転</a>	森 俊彦
16	<a href="#">私の中の土木</a>	片桐 知子
15	<a href="#">「次世代の公共交通機関 LRT」</a>	藤田 昭治
14	<a href="#">海外に於ける建設工事</a>	酒井 豊
13	<a href="#">人間関係の調和について</a>	櫻井 義行
12	<a href="#">土木と格闘したお話15章</a>	池亀 建治
11	<a href="#">ゴルフ狂人生</a>	中尾 順二
10	<a href="#">海外経験の残像</a>	井上 隆司
9	<a href="#">「営みを描く」=何でもない絵三</a>	酒井 貞
8	<a href="#">アルカリ骨材反応と情報公開</a>	山内 英治
7	<a href="#">「明治天皇聖蹟」碑を訪ねて</a>	平尾 修一

(作業中)

## 近年の活動概要

- ① 浪速の名橋50選改訂と追補橋梁の選定ならびに関西支部HP上での紹介(写真・記事)
- ② 「浪速の名橋」を活用とした技術伝承の取り組み
  - ・ 学生や若手技術者への技術伝承
  - ・ 関西支部「ぶら・土木」への協力
- ③ 神戸市「土木の学校」への支援
- ④ 西宮市都市局との交流(若手技術者への研修)
- ⑤ 近畿地方整備局・若手技術者との交流
- ⑥ 総会・定例会の開催



## 新たな活動（検討中のものを含む）

- 土木学会関西支部「次世代土木検討委員会」への参画  
「シニア技術者と現役技術者の意見交換の場、今後の技術者のあり方」を検討している委員会への参画
- 同様の活動を実施している他団体との交流  
長野県で活動されている「土木・環境しなの技術支援センター」との交流
- 中学校への出前授業の検討  
技術科の授業でブリッジコンテストや橋梁見学などを実施されている同志社中学での出前授業を検討中
- 他団体が実施するイベントでの土木施設の紹介  
大阪メトロ主催のまち歩きイベントにおいて土木施設の解説を実施

# 浪速の名橋 50選一覽

[相合橋\(あいあうばし\)](#)  
[猪飼野新橋\(いかいのしんばし\)](#)  
[今橋\(いまばし\)](#)  
[戎橋\(えびすばし\)](#)  
[大江橋\(おおえばし\)](#)  
[大坂橋\(おおさかばし\)](#)  
[大浪橋\(おおなみばし\)](#)  
[かもめ大橋\(かもめおおはし\)](#)  
[川崎橋\(かわさきばし\)](#)  
[神崎橋\(かんざきばし\)](#)  
[木津川橋\(きづがわばし\)](#)  
[京橋\(きょうばし\)](#)  
[源八橋\(げんぱちばし\)](#)  
[高麗橋\(こうらいばし\)](#)  
[此花大橋\(このはなおおはし\)](#)  
[桜宮橋\(さくらのみやばし\)](#)  
[下大和橋\(しもやまとばし\)](#)  
[十三大橋\(じゅうそうおおはし\)](#)  
[常安橋\(じょうあんばし\)](#)  
[昭和橋\(しょうわばし\)](#)  
[心齋橋\(しんさいばし\)](#)  
[新鳴野橋\(しんしぎのばし\)](#)  
[新淀川大橋\(しんよどがわおおはし\)](#)  
[水晶橋\(すいしょうばし\)](#)  
[菅原城北大橋\(すがはらしろきたおおはし\)](#)  
[住吉反橋\(すみよしそりばし\)](#)

[雪鯨橋\(せつげいきょう\)](#)  
[梅檀木橋\(せんだんのきばし\)](#)  
[千本松大橋\(せんぼんまつおおはし\)](#)  
[大黒橋\(だいこくばし\)](#)  
[大正橋\(たいしょうばし\)](#)  
[玉江橋\(たまえばし\)](#)  
[玉津橋\(たまつばし\)](#)  
[天神橋\(てんじんばし\)](#)  
[天満橋\(てんまばし\)](#)  
[豊里大橋\(とよさとおおはし\)](#)  
[長柄橋\(ながらばし\)](#)  
[難波橋\(なにわばし\)](#)  
[錦橋\(にしきばし\)](#)  
[日本橋\(にっぽんばし\)](#)  
[肥後橋\(ひごばし\)](#)  
[平野橋\(ひらのばし\)](#)  
[銚流橋\(ほこながしばし\)](#)  
[本町橋\(ほんまちばし\)](#)  
[港大橋\(みなとおおはし\)](#)  
[大和橋\(やまとばし\)](#)  
[葎屋橋\(よしやばし\)](#)  
[淀川大橋\(よどがわおおはし\)](#)  
[淀屋橋\(よどやばし\)](#)  
[渡辺橋\(わたなべばし\)](#)

# 浪速の名橋50選 (改訂版)

(50音順)

【改訂経緯・記述方針など(選定理由を含む)】

(浪速の河川位置図)

番号	橋名	読み	種別・形式	所在地	架橋河川名
1	<a href="#">相合橋</a>	あいあうばし	3径間合成桁	<a href="#">大阪市中央区</a>	道頓堀川
2	<a href="#">猪飼野新橋</a>	いかいのしんばし	鋼桁	<a href="#">大阪市生野区</a>	平野川
3	<a href="#">今橋</a>	いまばし	鋼箱桁	<a href="#">大阪市中央区</a>	東横堀川
4	<a href="#">戎橋</a>	えびすばし	鋼床版箱桁	<a href="#">大阪市中央区</a>	道頓堀川
5	<a href="#">大江橋</a>	おおえばし	鉄骨鉄筋コンクリートアーチ	<a href="#">大阪市北区</a>	堂島川
6	<a href="#">大坂橋</a>	おおさかばし	鋼製方杖ラーメン(自転車・歩行者専用)	<a href="#">大阪市中央区-都島区</a>	寝屋川
7	<a href="#">大浪橋</a>	おおなみばし	鋼製ブレースドリブタイドアーチ	<a href="#">大阪市大正区-浪速区</a>	木津川
8	<a href="#">かもめ大橋</a>	かもめおおはし	3径間連続逆台形箱桁斜張橋	<a href="#">大阪市住之江区</a>	大阪南港
9	<a href="#">川崎橋</a>	かわさきばし	2径間連続斜張橋(自転車・歩行者専用)	<a href="#">大阪市北区-都島区</a>	大川
10	<a href="#">神崎橋</a>	かんざきばし	3径間連続合成桁	<a href="#">大阪市淀川区-尼崎市</a>	神崎川
11	<a href="#">木津川橋</a>	きづがわばし	3径間単純合成桁	<a href="#">大阪市西区</a>	木津川
12	<a href="#">京橋</a>	きょうばし	3径間単純非合成桁	<a href="#">大阪市中央区-都島区</a>	寝屋川



## 【付録】

橋梁見学時に、訪れたり、見かけた施設や史蹟碑などです。「施設・史蹟碑」欄をクリックしてご覧ください。

最寄橋名	施設・史蹟碑
相合橋	<a href="#">「食満南北」句碑</a>
猪飼野新橋	<a href="#">「つるのはし跡」公園</a>
高麗橋	<a href="#">「里程元標跡」碑</a> 、 <a href="#">「東横堀川水門」</a>
此花大橋	<a href="#">「舞洲の環境施設」</a>
昭和橋	<a href="#">「宮本輝著『泥の河』舞台の碑</a>
心斎橋	<a href="#">「緑地西橋」</a>
新鳴野橋	<a href="#">「旧大阪砲兵工廠跡」</a>
梅檀木橋	<a href="#">「緒方洪庵適塾跡」</a> 、 <a href="#">大阪市中央公会堂</a> 、 <a href="#">大阪府立図書館</a>
千本松大橋	<a href="#">「千本松渡船場」</a>
天神橋	<a href="#">「大阪天満宮」</a>
天満橋	<a href="#">「「将基島粗朶水制跡」碑</a> 、 <a href="#">「淀川三十石船舟歌」碑</a> 、 <a href="#">「天満青物市場跡」碑</a>
豊里大橋	<a href="#">「平田渡しの跡」碑</a>
難波橋	<a href="#">「五代友厚公銅像」</a> 、 <a href="#">「大阪俵物会所跡」碑</a>
鉾流橋	<a href="#">「大阪天満宮『神鉾流し』神事の鳥居</a>
大和橋	<a href="#">「旧紀州街道」</a>
葎屋橋	<a href="#">「大阪会議開催の地」碑</a>

と元禄7年(1694)の修理工事から明治11年(1878)に鉄橋に架け替えられるまでに13回の修理および架け替え工事が行われた。その後、大正14年(1925)には花崗岩で化粧された鉄筋コンクリートアーチに架け替えられたが老朽化のため撤去された。現在の戎橋は国内外を対象にデザインコンペを実施し、その最優秀作品に基づいて整備されたもので平成19年11月(2007)に完成している。円形を基本とした橋上広場で劇場性を表現しつつ、広場に沿ってスロープを取り入れることで、水辺へ降りながら移りゆく景色を眺める楽しさなどを演出している。近くのグリコの看板とともに大阪ミナミのシンボルの一つといえよう。





# 大学生を対象とした橋梁見学会

(行程中の口で囲んだ橋名・施設名をクリックすると、CVVが編集したそれぞれのWEBページが見られます)



## 〈参加大学生の自由意見〉

- 既設だけでなく架設中のものなども見れたら楽しいかも知れません。
- 補修時の現場が見れる見学会があれば参加したい。
- 初めて橋巡りに参加し、いろいろな話や橋に出会うことができ、楽しくよかったです、また参加したいと思います。
- 橋以外の土木施設でも、今回のように解説していただけるのであれば、見に行きたいです。
- 橋以外の土木施設（例えばダムとか）も面白そうです。
- 班に分かれることで大人数にならなかったのが、ガイドの方の説明を近くで聞くことができよかったです。
- 今では、なかなか大きな橋の設計に関する話は聞けないのでためになった。
- 貴重な話を聞くことができありがたかったです。







学生(市大、関大)との淀川の橋巡り



# ぶら・土木への協力

一昨年の  
コース



昨年の  
コース





土木学会関西支部 ぶら・土木への支援



# 今後に向けて(課題等)

- 事務局機能強化、組織マネジメントの確立
  - 活動資金の確保
  - 多様なメンバーの参画
- 
- 土木系シニア層に期待される社会ニーズとは
  - 小規模自治体(特に構造物の維持管理に関して)への支援方策
  - 土木施設の市民広報のあり方、CVVの活動は？
  - 若手技術者との交流、対話

